

最大限の居住空間と最大限の荷室を両立する

Honda独自のパッケージング技術により、大人4人が快適に過ごすことのできる居住性と、優れた積載性を高い次元で両立させました。

センタータンクレイアウトにより優れた使い勝手を実現するシートアレンジ

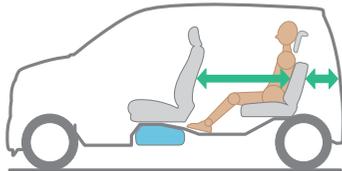
「N」シリーズとして初めて、前後に200mmのスライド幅を持たせたリアシートスライド機構を採用。シチュエーションに応じてリア空間を自在にアレンジできるようにしました。

リアシートを最大限後方まで下げた状態では、大人が足を組むことができる広大なタンデムディスタンスを持つ後席スペースを生み出しながらも、荷室側はHonda独自のセンタータンク

レイアウトで実現した290mmもの深さを持つアンダーボックスを活用することで十分な積載量を確保。ベビーカーなどの高さがある物を収納した際にも良好な後方視界を保ちます。

一方、リアシートを最大限に前方へ出し、ラゲッジスペースを最大にした状態でも、大人4人が快適に過ごすことのできるリア席空間を確保。優れた使い勝手を実現しています。

■ 後席スペース最大時



■ 上下で分けられる収納

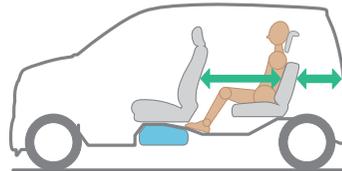
使用頻度の低いものを収められる

■ 縦に深い収納

A型ベビーカーが立てて入る



■ ラゲッジスペース最大時



■ 広がる収納

大人4人分のキャリーバッグを収納

■ 最大荷室

いざという時の最大荷室



常に「人」と「荷物」のスペースを両立

至れり尽くせりの豊富な収納

傘のような長尺物や靴など、これまで収納場所に困ったアイテムをリアシート下へスマートに収納できるリアシートアンダートレイをはじめ、

ユーザー目線に立ったこれまでに無いユーティリティを、車内の各部に多数設けました。



■ スライドセンタートレイ

普段は収納したまま小物入れとすることができ、引き出せばトレイとして使えるものとなりました。

■ センターボックス

スマートフォンや音楽プレイヤーの充電ケーブルを接続したままスマートに収納できるものとなりました。

※ボックスの形状は、量産仕様と一部異なります。



■ リアシートアンダートレイ

リアシート下に、リアシートアンダートレイを設置。傘などの長尺物や靴をシート下に収納できるようにしました。リアドアを開けてすぐに見えるワイドな形状にし、かつ、シートスライド位置を問わず使いやすいようにデザインしました。



■ シートバックアッパーポケット

フロントのシートバックに、中身が見えるメッシュ素材のポケットを装備。スマートフォンや携帯ゲーム機などを収納できるようにしました。